

A Foldable and Transportable Carport Shelter

CATALOG vol.01

ORIBAKO CATALOG vol.01



ORIBAKO

折りたたみ・移動式カーポートシェルター

お問い合わせ

☎097-568-4447

株式会社 大分フォーバイフォー

〒870-1132 大分県大分市大字光吉1142-3

oita4x4@yahoo.co.jp

Oita4x4



ORIBAKO-L4280

特許取得済

折りたたみ・移動式カーポートシェルター



暮らせる防災空間を、1つの箱に。

ORIBAKOは、単なる避難用のコンテナではありません。
災害時に「生活を続けられること」を目指して設計されています。
内部には、次のような設備を装備。

ベッド

テレビ

簡易トイレ

エアコン

冷凍冷蔵庫

テーブルセット

洗面設備

さらに、太陽光発電システム・蓄電池・浄水・貯水機能を備え、
電力・水・衛生を自立的に確保できるオールインワン構造です。
(一部オプションとなります)

災害発生後48時間以内にプライバシーを保ちながら
避難生活と物資提供ができる短中期型の防災シェルターとして、
即時入居が可能な設計になっています。

※仕様

	折りたたみ時	展開時
長さ	4280mm	4880mm
幅	2000mm	2600mm
高さ	1000mm	2400mm

●本体スチール枠組/錆止め塗装/焼付塗装

●外壁サイディング※オプション選べます。

●内装壁/色を含め各種選べます。

※外壁材は、オプションで、「日本遮熱㈱」の
遮熱鋼板ラップ工法トップヒートバリアーが
選べます。※内装壁は、アルミ複合板+シート加工
断熱材を入れる事も可能です。
トップヒートバリアーも選べます。

設営 運搬/展開

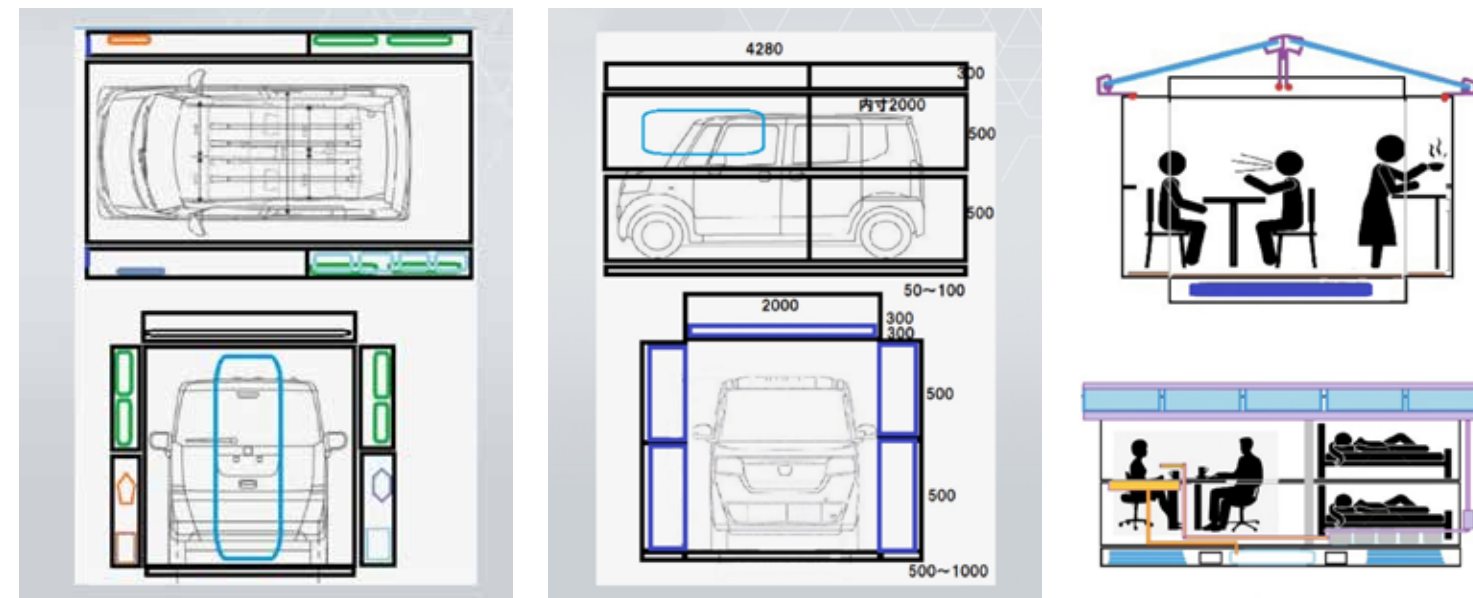
設営わずか **90分**



●普段は、車のカーポートとして使用可能。
置き場所にも困らず、日常の中で無理なく備えられます。
普段は愛車を守り、非常時には、家族の暮らしを守る
シェルターに。

ORIBAKOが
目指すのは、
日常と防災をつなぐ
“新しい備え”です。





ソーラー発電 × 避難装備 × プライバシー空間

ORIBAKOIは、ただの「避難用コンテナ」ではありません。
屋根にはソーラー発電システムを搭載し、停電時でも
照明・冷蔵庫・通信が可能。
さらに、ポータブルバッテリー付きエアコンをはじめ、

非常時に必要な避難装備を一式搭載しています。
内部にはテーブル、ベッド、冷蔵庫、簡易トイレなども備え、
“生活の延長線上で過ごせる避難空間”を目指しています。



オプション 災害に備えての数々の装備をご提供出来ます



車庫 常設時に車庫として利用も出来ます

●日常使いで車庫として利用し、いざ災害時ではシェルターとして活用出来ます。



熊本地震 避難を経験して、 見た「現実」

避難所の体育館で家族単位での生活ができない
その現実を実際に見てきたからこそ、
プライバシーを守る空間をつくりたかったんです



屋外に簡易トイレ を設置できる

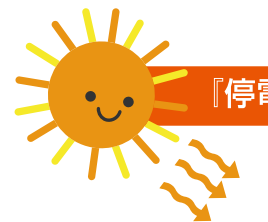
衛生とプライバシーを守る
・冷凍冷蔵庫・洗面関係・簡易トイレ



防災時に適用(家族を守るシェルター) 「避難所の現実」を見て、私たちは動き出しました。

熊本地震の際、実際に避難を経験した時に実感させられたのは
体育館での避難生活は、想像以上に厳しいものという事でした。
家族単位で安心して過ごすことが難しく、
障がいのある方やペットと一緒に生活できる空間も限られて
いたのです。

「プライバシーが守られない」「体調を崩してしまう」——
そんな声を何度も耳にしました。
その現実を目の当たりにした私たちは、
“車屋だからこそできる防災のかたち”を模索し始めました。



『停電しても、太陽があれば電気は止まらない。』ORIBAKOは、太陽光発電システムと蓄電池を搭載。

太陽の光を電力に変え、ためて、使う。
電気を“自給”できる防災カーポートです。

エアコンで温度を保ち、
冷蔵・冷凍庫で食材を守り、
照明で夜を照らす。

テレビやラジオで情報を受け取り、
スマホやPCも充電できるから、
離れた家族ともつながり続けられます。



停電が続いても、暮らしを止めない。
電気があるだけで、安心が続く。



水を“自給”できる防災シェルター

ORIBAKOは、雨水を貯水・浄水して、
飲み水まで再利用できる独自システムを搭載しています。

屋根全体に集めた雨水をタンクにため、浄水。
飲用レベルの水質まで整えることで、
断水時でも「飲む・洗う・使う」をすべてこの
一台の中で完結させます。

・生活水:洗顔・洗浄・手洗いなどに利用
・手洗い水:衛生を保つための最小限の水を確保
・飲用水:浄化タンクを通じて安全な水に
これらの水はすべて循環構造になっており、
雨が降るたびに再補給される仕組みです。



電気が止まっても、
ORIBAKOの屋根に設置された
太陽光発電システムと蓄電池 によって
電気の供給もされるため、
“水”と“電気”の両方を自給できる
防災ユニットとなっています。



地方自治体 各自治体の防災倉庫や避難拠点への導入を推奨。

災害避難時に必要となる電力・通信・衛生用品・非常食・水などを
収納可能。支援が整うまでの間、臨時シェルターとして
広域避難所や指定避難所に配備が可能です。

県警・行政機関

災害派遣・長期活動における
現地ベースキャンプへの配備。

4×4が製作した災害対策車を実際に運用した警察隊からは、
「現地は過酷で休憩できる場所もなく、車内で仮眠をとるしか
なかった」という声も。オリバコは、現地対策本部や臨時休憩所
としての利用も想定しています。

介護施設・医療機関

地域包括ケア拠点や
医療法人単位での導入。

災害発生時に個人のプライバシーを守りながら生活することが可能。
また診療スペースや隔離スペースとしても活用可能。
新型コロナウイルスなど感染症流行時にも罹患者の
隔離・検査スペースとして柔軟に運用できます。

一般個人

住宅併設型の「防災ガレージ」としての設置。

非常用備品を標準搭載しながら、平時は車庫や趣味部屋としても
活用可能。価格は300万円台を想定しており、キャンピングカー
よりも手頃に「もしもへの備え」が実現できます。

各種サイズ変更 軽トラックの荷台に乗るタイプも開発中

当社では、様々なニーズに対応する為、
mm単位でのオーダーも受け付けています。
キャンピングカーとしての利用も、
災害時での利用も想定して開発を
進めています。

